

やすらぎ通信

第5号 (平成23年4月1日) 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

卯月(卯の花月)

このたびの東北地方太平洋沖地震で被災
されました方々、犠牲になられました方々
に対しまして、心からのお見舞いとお悔や
みを申し上げます。

一日も早い復旧と復興をお祈りし、微力
ですが、私たちでご支援できることを行っ
てまいりたいと考えております。

万代池や万領公園の桜は、例年のごとくに咲き誇る季節となりました。しかし、大震災により、未だ多くの所在不明の方がおられ、また、難を逃れられた方も、避難所等で大変厳しい生活をされておられることや、原子力発電所の事故で二重に被害を受けておられる方々を前にして、私たちは、春の訪れを楽しむ気分にはなかなかないのではないのでしょうか。

1日も早い復旧、復興に向け、当センターといたしましても、医療面での支援活動や義捐金の募集等できる支援を尽くしてまいりたいと考えております。

NEWS

【荻原俊男院長が勇退され、吉岡敏治新院長が就任しました】

3月31日付をもちまして、平成19年度から当センター院長として、当センターの改革に取り組まれた荻原俊男氏が退任され、新院長として、当センターの救急医療を育て上げてきました吉岡敏治前副院長が4月1日付で新院長に就任いたしました。

荻原俊男前院長は、当センターが大阪府の経営から離れ、地方独立行政法人大阪府立病院機構の経営に移管された2年目に就任され、慢性的な赤字経営であった当センターの経営改善に取り組まれ、就任2年目の平成20年度に黒字転換を図り、今では法人トップの優良経営の病院に改革をされました。

この改革により、医療の質を一層高めるための医療機器・設備への投資、患者さんのアメニティーの向上を図るための投資ができる経営基盤が確立することができました。高額医療機器につきましても、がん治療の一層の高度化を図れる放射線治療装置リニアックの更新に続いて、今年度はがん診断の一層の高度化を図ることができるPET-CTの導入ができるようになりました。

また、1階エントランスの全面リニューアルなど、患者さんに行き届いたサービスやアメニティーを高める投資もできるようになりました。

さらに、院内にコンビニやカフェ、カレーショップなどの便民施設の導入も積極的に行われました。

こうした、荻原前院長が確立された病院改革の路線を新院長のもとでも受け継ぎ、また、新院長の新しい感覚や思いも取り入れて、当センターが、大阪市南部地域の基幹的な医療機関として、皆様に高度な質の高い医療サービスを提供してまいりたいと考えておりますので、これからもよろしく申し上げます。

【地震被災者への医療支援活動を継続実施しています】

当センターは、大阪府の基幹災害医療センターとして、また府立の基幹医療機関として、このたびの地震発生当初から被災地に医療チームを派遣し、継続的な医療支援活動を行っています。

①DMAT (Disaster Medical Assistance Team) の派遣

DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療スタッフまたは事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、発生直後から入り、救命救急医療活動を展開します。

当センターのDMATは、2隊派遣をし、第1陣は震災発生当日の3月11日に出発し、12日から13日にかけて仙台医療センターや若林地区で活動を行い、13日には石巻地区に移動し、14日まで石巻赤十字病院で活動を行いました。

また、第2陣は13日に出発し、14日に仙台医療センターに、また同日夕刻からは15日にかけて、花巻空港で傷病患者さんの域内搬送支援の活動を展開しました。

②医療支援チームの派遣

多くの避難所に分散されて避難されておられる被災者の方の健康の維持が大きな課題となっております。このため、岩手県知事の要請を受ける形で、府立5病院で医療支援チームを編成し、一般医療チームは釜石市の避難所において、こころのケアチームは宮古市の避難所において医療活動を継続的に実施しております。

当センターは、既に第1陣（3月24日から3月27日まで）と第2陣（3月27日から3月30日まで）を派遣いたしました。当面4月中、他センターとローテーションを組み合わせながら支援活動を行ってまいります。

【1階エントランス工事完成—より便利にご利用いただけるようになりました】

当センターにおきましては、より便利でやすらぎの感じられる空間へと1階エントランスの改修工事を進めてまいりましたが、このたびほぼ完了（一部震災の影響で工事が残っておりますが）いたしました。

新しくリニューアルしましたエントランスは、「初診患者さんのゾーン」「再診患者さんのゾーン」「入院患者さんのゾーン」と大きくゾーン分け、目的別にどこに行けばいいの分かりやすくしました。

また、受付カウンターを低くしまして、以前のようにお立ちいただいたままでの受

付ではなく、落ち着いて座って受付ができるようにいたしました。これにより、車椅子の患者さんも車椅子に座ったままで受付をしていただけるようになりました。

さらに、受付カウンターはプライバシーが保てるよう仕切りパネルを据え付け、ご安心してご相談をいただけるようにしました。

また、入院ゾーンにおきましては、ソファールにお座りいただいたまま、職員が個々の患者さんのお席にお伺いし、ご説明や、手続き、お薬のチェック等をさせていただくことにいたしました。

さらに、ご要望の高かった、入院前の入院費用の概算をその場で、予めお知らせをさせていただくことにしました。病院にお越しになるときは、不安を感じられてお越しになる方が多いのではないのでしょうか。私たちは、少しでもその不安を取り除き、安心して医療にかかっているよう全スタッフあげてお手伝いをさせていただきたいと思っております。

【地下食堂のリニューアルとカレーショップのオープン】

少しでもおいしい食事をと地下の食堂の業者選考を「提案コンペ方式」で行いました。今月4日からは、その「コンペ」に当選した、新しい事業者によって食堂の運営を行っていただきます。ご利用の際には、是非ご意見を意見箱等にお寄せください。

また、本館と中央館との間の連絡通路からの北側出口角に新たにカレー専門ショップが5月初旬にオープンします。是非機会があればご利用ください。

今月の催し

【大好評！！】

相愛大学連携・外来糖尿病教室～知って得する！糖尿病との付き合い方～】

日時 4月27日(水) 14:00～15:30

糖尿病の基本や、食事の話など盛り沢山です！

講師：当センター糖尿病代謝内科医員 片岡隆太郎

「糖尿病性網膜症について」

臨床検査技師 「検査値の見方について」

糖尿病療養指導士（管理栄養士）

「日常の食事について」

相愛大学人間発達学部栄養発達学科学生による「サッとシステム」を使用した食事診断も開催します。

また、希望者には血糖値測定を行います。

場所：本館1階 1番外来付近

参加費：無料

【今月のすこやかセミナー】

「お助けしましょう！患者総合相談あれこれ」

日時 4月22日(金) 午前11時～12時

場所 3階保健教室

講師 当センター地域連携室 ケースワーカー 岡本 みどり

参加費 無料

【予告：次回の相愛大学連携コンサート】

次回5月下旬開催の第11回連携コンサートは、初めての金管楽器によるコンサート・「ユーフォニアム四重奏」です！是非ご期待を。

詳細は、ホームページ、ポスター、やすらぎ通信等で改めてお知らせします。

【現代美術空間—病院ギャラリー 企画展開催中】

平成23年6月23日まで 本館2階ギャラリー 無料

前回の第2回企画展「中国 江南のみち」に引き続き、須田剋太「街道をゆく・挿絵原画展—信州佐久平のみちほか」を開催しています。

須田剋太は、司馬遼太郎氏に同行しながら、1971年から1990年に亡くなる直前まで週刊朝日に連載された「街道をゆく」の挿絵原画を描き続けました。

この間に描いた挿絵1858点が他の油彩画等とともに、大阪府に寄贈されました。

本作品展は、大阪府立現代美術センターのご協力で開催しております。

【予告：次回の現代美術空間—病院ギャラリー 第4回企画展】

平成23年6月24日から

やすらぎの木版作家「浅野 竹二 初期情景版画展」

～ 新・京名所と新・大阪風景 ～

Topics

【地域医療連携室と地域医療予約室が同一フロアになりました！】

地域の医療機関との連携窓口、地域医療連携室はこれまで連携室が2階、地域予約室が1階と分かれており、地域医療機関の皆様方には大変ご不便をおかけしておりました。このたびのエントランス工事に合わせまして、医事グループの執務室の改装を行い、その中に地域医療連携室・予約室が入り、既に、同じフロアで業務を開始しております。また、昨年末よりインターネットを介した地域医療予約の受付を開始し、ご登録をいただいた医療機関様からは「夜間でも予約が取れて大変便利になった」とご好評をいただいております。地域医療連携室では、今後地域の医療機関の皆様方とともに、地域の患者さんを支えることに貢献していきたいと思っております。

【23年度機器整備でPET-CTを導入！】

がん診療の拠点病院として、がんの診断機能を一層強化することを目的に、23年度の医療機器の整備の一環としてPET-CTを導入することになりました。整備時期は、年度後半になる予定ですが、詳細が決まり次第、本通信でもお知らせいたします。

今月のコンシェルジュ

【新装なった新しいエントランスで最高の接遇を】

1階エントランスは、工事もほぼ完成し、新しく機能的でやすらぎ感の感じる空間に生まれ変わりました。この新しく生まれた医療空間で私たちコンシェルジュも最高の接遇パフォーマンスをご提供できるよう、一層努力をしております。

その他のお知らせ

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、4月からメルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページからアドレスを登録していただきますようお願いいたします。

なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、院内が「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力します。